

福祉サービス第三者評価結果の公表ガイドライン

①第三者評価機関情報

評価機関名：	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会
訪問調査実施期間：	平成26年11月26日(水)

②事業者情報

名称：	社会福祉法人米子福祉会 成実保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	理事長 岸岡和男	定員（利用人数）：	60名(73名)
所在地：	米子市石井95-3	TEL	0859-26-1855

③総 評

◇特に評価の高い点

豊かな自然環境を活かした保育の実践

保育方針に「恵まれた自然の中で感動体験を通し豊かな感性を育てる」を掲げられ、毎朝、園舎近くの神社までの坂道マラソンの実施、菜園活動を通して、収穫から調理して食べることで、食への関心や意欲を高める取り組みを行っておられます。

◇改善を求められる点

1 中・長期計画の内容の充実について

新たに法人として平成26年度からの「中長期経営計画書」を策定されましたが、具体的な内容が明示されていません。法人の理念や基本方針の実現に向けた具体的な取り組みとなるような計画の策定が望まれます。

2 職員の資質向上に向けた取り組みについて

人材の能力開発・育成の視点で、客観的な基準に基づいた人事考課を実施するとともに、人材育成計画に基づき、目標、実施、評価などが示された個別職員の研修体系の策定が望まれます。

3 人材確保に関する具体的なプランの確立について

基本方針や各計画を実現するためにも、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランの確立が望まれます。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受けたことで事業の反省点、課題が明確になったことは良かったと思う。指摘を受けたところを検証し、改善に向けて取り組み、保育所運営や保育サービスの向上に向け、努めていきたいと思う。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙のとおり

福祉サービス第三者評価結果

※すべての評価項目（53項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a b・c	①法人理念は明文化し、入園のしおりやパンフレット、ホームページに掲載し、玄関や事務室に掲示しておられます。
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a b・c	②法人理念に基づき基本方針が作成され、明文化しておられます。入園のしおりや事業計画等に掲載しておられます。
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a b・c	①職員には、年度当初の全体職員会議で資料を配布、説明し、周知しておられます。
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a b・c	②利用者には、入園説明会で入園のしおりを用いて説明し、入園後も保護者総会や園だよりで周知を図っておられます。公民館や小学校などの関係機関に、園だよりやパンフレットを配布・設置し、地域の方々へも周知しておられます。

Ⅰ-2 事業計画の策定

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a b c	①法人として「中長期経営計画書」を作成し、計画を踏まえた収支計画を作成しておられますが、事業所ごとの具体的な内容となっておりません。理念や基本方針の実現に向け、具体的な取り組み内容を策定されることが望まれます。
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a b c	②「中長期経営計画書」が具体的な内容となっていないため、事業計画が中長期計画を反映したものになっていません。
Ⅰ-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
Ⅰ-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	a b・c	①事業計画は、前年度に職員会議で話し合わせ、職員の意見を反映し策定しておられます。年度途中に、リーダー会議や職員会議で計画の実施状況を把握し、確認・見直しを行っておられます。
Ⅰ-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	a b・c	②事業計画は、全職員に配布し、年度初めの全体職員会議や園内研修で説明し、周知しておられます。職員会議において、事業計画の実施状況を確認しておられます。
Ⅰ-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	a b c	③事業計画は、入園説明会や年度当初の保護者総会において、口頭で説明しておられます。分かりやすい資料等を配布し、周知されることを期待します。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

評価項目	第三者評価結果	コメント
I-3-1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-1-1) ① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a b c	①年度当初の全体職員会議で、業務分担当表や予防管理機構、非常災害時の任務等により、平常時や有事における園長の役割と責任を説明しておられます。
I-3-1-1) ② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a b c	②教育関係書や労働基準法、保育所運営ハンドブック等は事務所に備え、遵守すべき法令はリスト化し、各保育室に設置して、職員がいつでも見られるようにしておられます。園長は、法令順守等を正しく理解するため法人の園長会で学んでおられます。
I-3-2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-2-1) ① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a b c	①園長は、年2回の職員の自己評価の評価・分析を行っておられます。職員との面談を通じて、職員へ自己啓発のための助言をし、サービスの質の向上に指導力を発揮しておられます。
I-3-2-1) ② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a b c	②園長は、法人本部と連携しながら人員配置、職員の働きやすい環境整備などの改善に努めておられます。今後は、園内に具体的な体制づくりや全職員に意識を形成するための取り組みが望まれます。

評価対象 II 組織の運営管理

II-1 経営状況の把握

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-1-1-1) ① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a b c	①保育制度等の状況は、全国保育協議会や鳥取県子ども家庭育み協会、社会福祉施設経営者協議会等を通じて把握し、地域の状況は、法人本部と連携し、市のホームページや公民館などから情報を収集しておられます。把握した情報やデータを踏まえ、中・長期計画や単年度の事業計画に反映されることを期待します。
II-1-1-1) ② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a b c	②法人本部と連携し、毎月水道光熱費や紙使用等コスト状況の把握をしておられますが、状況を分析し、改善すべき課題発見までには至っていません。
II-1-1-1) ③ 外部監査が実施されている。	a b c	③本年度、外部監査が実施され、外部監査実施者からの内容確認のための仮報告書を確認しました。今後、結果に基づき経営改善に取り組まれることを期待します。

II-2 人材の確保・養成

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-2-1) 人事管理の体制が整備されている。		
II-2-1-1) ① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a b c	①必要な人材や人員体制に関する具体的なプランは確立しておられません。基本方針や各計画を実現するためにも具体的なプランの確立が必要です。
II-2-1-1) ② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a b c	②人事考課は実施しておられません。人材育成、組織の活性化等に役立てるためにも考課基準を定め人事考課を実施されることを期待します。

II-2-2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-2-1) 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a ● b ● c	①園長補佐が、職員の就業の意向や休暇取得状況を定期的に確認しておられます。今後は、現状を分析し、改善が必要な場合、改善策を検討する仕組みづくりを構築されることを期待します。
II-2-2-2) 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	● a ● b ● c	②米子市勤労者福祉サービスセンターに加入し、職員の福利厚生事業を行っておられます。また、ボウリング大会等を開催し職員間のコミュニケーションを図る機会としておられます。健康診断の結果に基づき、産業保健センターの医師に相談できる体制になっています。
II-2-3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-3-1) 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a ● b ● c	①職員の教育・研修に関する基本姿勢は、基本方針や事業計画に明示しておられますが、具体的な目標等が明示されていません。求められる職員のあり方を、技術水準や専門性の向上といった点から明確にした職員の教育・研修に関する組織の基本姿勢を具体的に明示されることが望まれます。
II-2-3-2) 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a ● b ● c	②職員の意向と、組織がそれぞれの職員に求める教育・研修内容に基づいた個別の研修一覧表があり、研修に参加しておられますが、研修計画はありません。職員一人一人の育成目標を定め、実施後の評価（ふりかえり）などを盛り込んだ研修計画を策定することを期待します。
II-2-3-3) 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a ● b ● c	③研修後は、研修報告書を作成し、研修内容を報告する機会を設けておられますが、個別の研修計画の評価、見直しまでには至っていません。
II-2-4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
II-2-4-1) 実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	● a ● b ● c	①実習生受け入れの基本姿勢は、マニュアルに明示しておられます。担当職員を配置して、マニュアルに沿って実習生を受け入れておられます。養成校と連携し実習生の実習プログラムを作成しておられます。

II-3 安全管理

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-3-1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
II-3-1-1) 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	● a ● b ● c	①各保育室に、事故防止マニュアルや感染症対応マニュアルを設置し、職員がいつでも見られるようにしておられます。職員会議で周知しておられます。
II-3-1-2) 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	● a ● b ● c	②災害時対応マニュアルがあり、年間非常災害訓練計画に基づき、火災や地震、津波、不審者侵入などを想定した避難訓練を毎月実施しておられます。職員会議で一人一人の役割を確認し、職員に周知しておられます。
II-3-1-3) 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	● a ● b ● c	③各保育室に、事故防止マニュアル、ヒヤリハットマップ（危険場所マップ）を設置しておられます。ヒヤリハット報告書で、ヒヤリハット事例の報告が行われています。職員会議で事故防止策を話し合い、改善につなげておられます。

Ⅱ-4 地域との交流と連携

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-4-1(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
Ⅱ-4-1(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	(a)・b・c	①地域との関わりは、理念や基本方針に姿勢を明示し、事業計画に具体的に示しておられます。公民館行事への参加、地元小中高等学校やグループホーム等高齢者施設との交流を行っておられます。
Ⅱ-4-1(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	(a)・b・c	②子育てサークルに園庭開放や行事への招待など広報紙等で呼びかけや、一時預かり事業を実施しておられます。
Ⅱ-4-1(1)-③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	(a)・b・c	③ボランティア受入れに関する基本姿勢は、マニュアルに明文化し、マニュアルに基づき受け入れをしておられます。絵本の読み聞かせや昔遊びなどのボランティアを受け入れておられます。ボランティア受入実績が具体的に分かる記録の整備が望まれます。
Ⅱ-4-1(2) 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ-4-1(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	(a)・b・c	①行政・消防・警察・児童相談所・保育所・小中高等学校・医療など関係機関の情報をリスト化し、事務室と各保育室に設置しておられます。
Ⅱ-4-1(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	a・(b)・c	②特別支援が必要な子どもの育ちに関して、小学校や鳥取大学附属病院、鳥取県立総合療育センター、行政と個別に連携を図っておられます。地域の関係機関・団体等と定期的に連携を図る場づくりが必要です。
Ⅱ-4-1(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-1(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	a・(b)・c	①地区の教育推進協議会への参画や子育て支援センター等との交流で子育て支援ニーズの把握に努めておられますが、ニーズ把握までには至っていません。地域交流の行事等でアンケートを実施するなど多様な方法でニーズ把握をされることが望まれます。
Ⅱ-4-1(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a・(b)・c	②把握した保育、子育て、福祉ニーズ等に基づいた事業・活動の中長期計画や事業計画に示し、実施されることを期待します。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-1(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-1(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取り組みを行っている。	(a)・b・c	①利用者一人一人を尊重する姿勢は、保育理念や保育方針に明示しておられます。人権に関する研修に参加し、報告書の回覧、職員会議で共通理解を図っておられます。
Ⅲ-1-1(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	(a)・b・c	②プライバシー保護マニュアルを策定し、年度当初の職員会議において職員に説明しておられます。マニュアルは、各保育室に設置しておられます。
Ⅲ-1-1(2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-1(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a・(b)・c	①保護者に対し、保育参観や給食参観等行事ごとにアンケートを実施し、結果や意見は保護者へ報告しておられます。今年度は新たに行事だけでなく、園全体のアンケートを実施する予定です。

Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	(a)・b・c	①送迎時や連絡ノートなど日々の保護者とのかかわりの中で信頼関係を築き、相談しやすい環境づくりに努めておられます。園だよりに相談・意見の受付に関して掲載し配布しておられます。また、事業計画には、苦情受付の周知に関する記載があり、相談や意見に対する保育園の姿勢を明示しておられます。
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	(a)・b・c	②法人の苦情解決要綱規程に基づき、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設置し、玄関に名前・連絡先を掲示しておられます。苦情内容、解決結果はホームページ等で公表され、保護者にフィードバックしておられます。
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	(a)・b・c	③苦情解決マニュアルに基づき、意見等には迅速に対応しておられます。苦情・意見内容は職員会議で周知を図り、結果は、内容により口頭、文書等で回答しておられます。

Ⅲ-2 サービスの質の確保

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	(a)・b・c	①サービス内容について、全職員が定期的に自己評価を行っておられます。本年度、初めて第三者評価の受審に取り組みました。
Ⅲ-2-(1)-② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実行している。	a・(b)・c	②自己評価は各項目ごとに集計し、達成度をまとめておられます。達成度の低い項目を中心に改善に向けた取り組みを職員会議では話し合っておられますが、改善策や改善実施計画を立案、実施するまでには至っていません。
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	(a)・b・c	①理念や基本方針、保育課程に基づき、年間指導計画（年齢ごと）、月指導計画、週日記録を作成され、サービスが提供されています。保育マニュアルは、全職員に配布されるとともに、各クラスに掲示しておられます。
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・(b)・c	②見直しは年度末の職員会議で必要に応じて行われています。見直しに関する時期やその方法を定め、仕組みに従って検証・見直しされることを期待します。
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	(a)・b・c	①個別の児童票や経過記録、未満児個別計画、障害児個別指導計画、月週日記録等を作成しておられます。記録方法は、法人で記録要領を作成し、職員間で書き方に差異が生じないように、園長・園長補佐が指導しておられます。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・(b)・c	②子どもに関する記録は、法人の個人情報保護規程に基づき書類管理の担当者を置き、管理、保存、廃棄、開示に関する規程を定めておられます。記録の保管場所の改善が必要です。
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	(a)・b・c	③一人一人の子どもの状況に関するケース会議は定期的、必要に応じて随時開催し、会議結果は、職員会議で報告しておられます。欠席の職員には職員会議録を回覧し、全職員が共有しておられます。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a → b · c	①保育理念や保育内容を掲載したパンフレットやホームページで情報を提供しておられます。パンフレットは、公民館や地域の病院(園医)に設置し、見学者には、入園のしおりを用いて説明しておられます。
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a → b · c	②米子市は利用者と米子市が契約する仕組みとなっています。サービス開始時に「入園のしおり」で保護者へ保育内容等について説明し、同意を得ておられます。
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a · b → c	①転園に際しては、口頭で情報提供がされていますが、継続性に配慮して引継ぎ手順等の作成が望まれます。卒園に際しては、小学校と連携し、児童要録を渡しておられます。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a → b · c	①アセスメント手順書によりアセスメントを行っておられます。児童調査票で子どもの身体状況や生活状況を把握しておられます。アセスメントの見直しは、年度初めと必要に応じて随時行っておられます。
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a → b · c	①年間指導計画(年齢ごと)は保育課程に基づき作成されており、3歳未満児は個別指導計画、3歳以上児は、月・週単位の指導計画を作成しておられます。年間・月間指導計画と週日記録は関連性を持たせ、園長を責任者とし、担当職員との合議で作成しておられます。
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a · b → c	②計画の評価・見直しは月1回の職員会議やリーダー会議等で実施し、保育の改善・計画の見直しを行っておられます。評価・見直しに関する手順等を定めて実施されることを期待します。

福祉サービス第三者評価結果 (付加基準－保育所版－)

※すべての評価項目（24項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

A-1 保育所保育の基本

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-① 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	(a)・b・c	①保育課程は保育方針や目標に基づき編成しておられます。子どもと家庭の状況や背景、地域の実態等を考慮しながら定期的に評価、見直しを行っておられます。
A-1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c	②乳児保育は実施しておられません。
A-1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(a)・b・c	③日々の生活の中で、自分でしようとする気持ちを大切に、食事や着替えなど基本的な生活習慣が身につけられるよう関わっておられます。探索活動が十分に行えるよう環境を整え、自我の育ちを受けとめる関わりをしておられます。子どもの状況は、連絡ノートや送迎時を利用して保護者へ伝え、連携を図っておられます。
A-1-(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(a)・b・c	④一人一人の発達や育ちに合わせて基本的な生活習慣が身につけられるようにしておられます。集団の中で安心して過ごし、自分の力を発揮しながら友達と遊びが楽しめるよう努めておられます。
A-1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	(a)・b・c	⑤隣接の成実小学校と交流や参観の計画を立て、実施しておられます。保育所児童保育要録の作成と共に、子どもや保護者が、小学校への期待と見通しを持って生活や学びにつなげていけるよう小学校の情報を伝えておられます。
A-1-(2) 環境を通して行う保育		
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	(a)・b・c	①物的環境は、清掃・換気・保温・消毒など心地よく生活できるようにし、室内外とも安全チェックを行い危険防止に努めておられます。人的環境は、子どもを一人一人受けとめ、信頼関係を深め、安心して過ごすことができるよう関わっておられます。
A-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	(a)・b・c	②食事や排せつ、着替え、手洗い等の基本的な生活習慣は、一人一人の育ちを把握しながら、必要に応じて手助けをし、自分でしようとする気持ちを大切にしたり関わりを心がけておられます。戸外あそび、運動あそびなどが十分に楽しめる遊具や用具を整備しておられます。
A-1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友達との協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	(a)・b・c	③一人一人の自分でしてみようとする気持ちを大切にしながら、援助や言葉かけをしておられます。異年齢児交流、給食等の当番活動などを通して、友達と協同して遊び、主体的に活動する機会を作り、活動を見守っておられます。
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかがわれるような人的・物的環境が整備されている。	(a)・b・c	④近くの山や川、神社や周りの田畑などを散策し、季節を感じたり自然に触れたりする機会を多く持っておられます。こいのぼり掲揚・夏祭り・公民館祭・かかし作りなど地域の行事への参加、お年寄りとの交流の場など社会とかがわれる機会を多く作っておられます。
A-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	(a)・b・c	⑤絵本の読みきかせ、お話の会、ごっこあそび、わらべうたあそびなどでいろいろな言葉に触れたり、歌ったりしておられます。リズムあそびやリトミック、さまざまな素材や用具にも触れ、表現活動がのびのびと楽しめるよう配慮しておられます。

A-1-(3) 職員の資質向上		
A-1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	(a)・b・c	①定期的に自己評価を行い、子どもの育ちや保育士自身の保育実践を振り返り、全体職員会や年齢別職員会で気づきや改善点などを話し合い、意識の向上、学び合いにつなげておられます。

A-2 子どもの生活と発達

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 生活と発達の連続性		
A-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	(a)・b・c	①一人一人の家庭環境や生活リズム、発達など子どもの実態の把握に努め、穏やかで適切な働きかけや援助を行っておられます。
A-2-(1)-② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(a)・-・c	②個別の指導計画を作成し、子どもの発達状況や課題についてケース会議等で共通理解を図っておられます。子ども同士がかかわり、お互いが成長できる環境づくりに努めておられます。鳥取大学付属病院・鳥取県立総合療育センターなど専門機関と連携し、保護者の思いに寄り添いながら相互理解を図っておられます。
A-2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	(a)・b・c	③家庭的な雰囲気の中で、異年齢の子ども同士でゆったりと遊べる環境づくりに努めておられます。職員間の引き継ぎや連絡は出席状況調べ（視診簿）に記録し、適切に行っておられます。
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
A-2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	(a)・b・c	①児童調査票の記録と聞き取りにより、既往症等の把握に努めておられます。子どもの健康状態は視診簿等で周知し、職員間で共通理解をし、体調変化やけがなどについては迅速・丁寧に保護者に伝えておられます。
A-2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。	(a)・b・c	②食育計画を作成し、楽しく食べる、食べ物やマナーに関心を持つなどの取り組みをしておられます。一人一人の状況に合わせ食事の量を加減したり、会食やバイキングなど楽しく食べる雰囲気づくりに配慮しておられます。また、菜園活動を取り入れ、収穫した野菜を加え、食事がより楽しむことができるよう取り組んでおられます。
A-2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食事が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	(a)・b・c	③米子市の献立作成会に出席し、管理栄養士が立てた献立に基づき、きざみ食など発育状況に応じた調理の工夫をしておられます。月1回食育指導を行い、調理員も食事の様子を見る機会を設け、調理方法を工夫するなど改善につなげておられます。
A-2-(2)-④ 健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(a)・b・c	④内科健診・歯科検診・耳鼻科検診の結果は、保護者に伝えるとともに、職員間で共有しておられます。健診結果は、記録に残しておられます。
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
A-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	(a)・b・c	①アレルギー疾患、慢性疾患等の状況を把握し、医師の指示を保護者と共に確認し、除去食を実施、食品の除去または代替への対応をしておられます。アレルギー児対応マニュアルを作成し、アレルギー対応についての知識や情報を全職員に周知しておられます。配食・誤食防止のために配膳前後の職員間のチェック、専用トレイ使用などを行っておられます。
A-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	(a)・b・c	②調理場、水回りの消毒は、毎日消毒液で消毒し清潔にしておられます。感染症マニュアル・消毒マニュアル・衛生管理マニュアルは、職員会で研修し、周知を図っておられます。

A-3 保護者に対する支援

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 家庭との緊密な連携		
A-3-(1)-①子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	(a)・b・c	①献立表を配布し、おたよりで食育についての取り組みや情報の提供をしておられます。給食のサンプルを玄関に置いたり、レシピを配布したり、保護者が園の給食に関心が持てるようにしておられます。給食参観日を設け、アンケート調査を行い、連絡ノート等での個々のやりとりで家庭での食事状況を把握したり、食に関する相談に乗ったりしておられます。
A-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	(a)・b・c	②送迎時の会話や連絡ノートのやりとり等で保護者との情報交換に努めておられます。内容によっては個人面談を行い相談に乗ったり、思いを共有したり、信頼関係を築けるよう努めておられます。児童票・個人保育計画に記録し関係職員で共通理解を図っておられます。
A-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	(a)・b・c	③子どもの発達や育児等については、保育参加日やクラス懇談、個人懇談の他に個人相談を行い、保護者と共通理解を深める機会を設けておられます。
A-3-(1)-④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	(a)・b・c	④虐待防止マニュアルを整備し、職員研修で周知しておられます。虐待早期発見チェックリストを利用し、早期発見および予防に努めておられます。ケース会議で、不適切な養育が疑われる場合には、関係機関と連携して対応すると共に、衛生面・生活面の援助をしておられます。